

# 飯伊 産業経済動向

No.473 2018/8  
(30.9.25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp  
〒395-0044 飯田市本町1-2  
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

## 飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,455	枚	△	10.6 %	△	5.5 %
	金額	4,778,765	千円		5.4 %		0.3 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	6	件	(前月 10 件)		(前年同月 5 件)	
	飯伊	1	件	(前月 1 件)		(前年同月 0 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(7月)		26	戸	△	50.9 %	△	50.9 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(7月)		1.68	倍	(前月 1.62 倍)		(前年同月 1.55 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,110	台	△	5.4 %		23.5 %
	中古車	642	台		4.1 %		14.6 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (7月)	新車	4,056	台	△	4.2 %		6.4 %
	中古車	980	台	△	3.3 %		6.6 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	129,771	台		12.5 %		1.5 %
	出	130,377	台		11.4 %		0.7 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	88,659	台		9.2 %		1.6 %
	出	84,455	台		7.4 %	△	2.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	21,322	台		24.4 %		4.9 %
	出	20,805	台		23.1 %		4.3 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	55,807	台		27.7 %	△	1.9 %
	出	56,946	台		23.4 %	△	1.2 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		147	件		1.4 %	△	12.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		2	件	(前月 6 件)		(前年同月 8 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	36,722	人		40.4 %	△	0.2 %
	飯田～名古屋	22,773	人		33.1 %		0.8 %
	飯田～長野	10,136	人		6.0 %	△	2.0 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,783	人		15.1 %		4.2 %
	右回り	3,837	人		8.1 %		9.0 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ  
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を  
使用しています

# 概況

## 製造業

8月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス29.6で、前月から33.2ポイント下降。翌月予測もマイナス14.8で、前月から21.3ポイント下降している。

電気、精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。もっとも、一部に受注残高の前月比、前年比がやや減少した業者も見られ、こうした業者では景況感も悪化している。半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高の前月比は、やや減少～概ね横ばい。複数の業者から景況感も悪化との声が寄せられた。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、減少～横ばい。景況感が悪化した業者も少なくない。「例年8月の売上は落ちる」「国内は依然忙しいが、中国関連の動きが悪い」などの声。建築用金属製品の売上は、前月比増加との声。自動車向け部品の販売は、前月比増加も、景況感の好転には至っていないとの声が寄せられた。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい～やや増加も、総じて景況感に動きは見られない。FA関連モーターの販売は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。光学機器部品の販売は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。電気、電子製品の生産は、前月比やや増加、景況感も良好との声。

## 地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、やや減少～横ばい。景況感が好転した業者は見受けられず、却って「全体に動きが悪い」など景況感が悪化した業者も見られた。水引製品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。複数の業者から前年比増加との声が寄せられたが、「業況は概ね平穩」など景況感に動きは見られない。漬物の販売は、前月比やや増加も、「一般的に動きは良くない」などの声が聞かれた。

## 建設業

8月の建設業の景況DIは、マイナス28.6で、前月から21.5ポイント下降。翌月予測DIは、0.0で、前月から6.7ポイント上昇した。

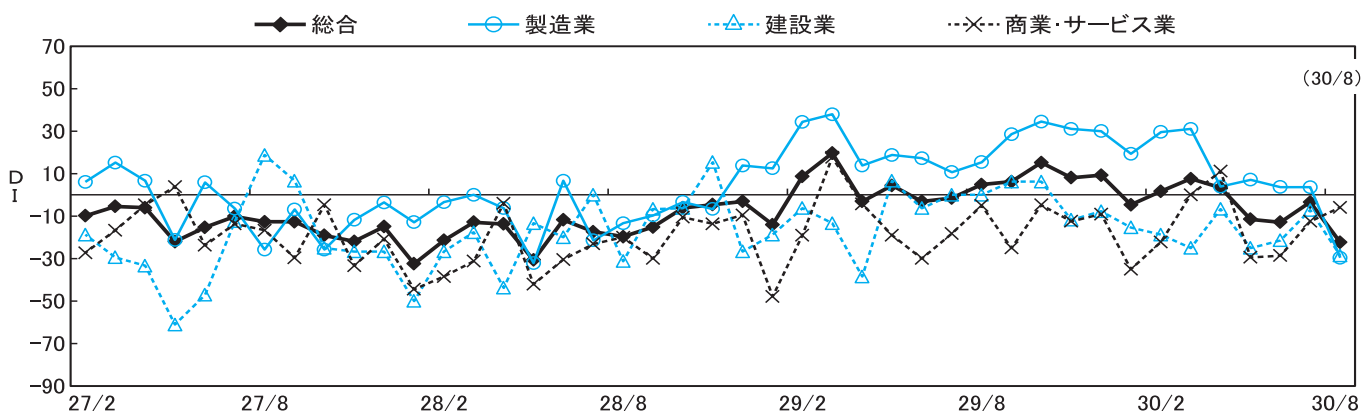
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、9月15日調査時点で約5.7億円となっている。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部にやや増加との声も聞かれたが、「今月の受注は予定通りだったが、受注残高の前年比は今月も減少。公共事業の発注は例年通り低調」などやや減少との声が多くを占める。

当地区の7月の住宅着工戸数は26戸で、前月比、前年比とも51%減少。当月の調査先企業の受注残高は、前月比横ばい～やや増加。一部に前年比増加との声も。景況感が好転した業者は見られなかったものの、「住宅とリフォームはますます」などの声が寄せられた。

## 商業・サービス業

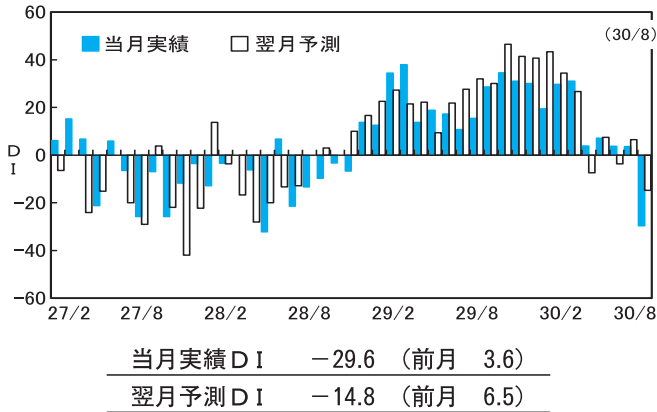
8月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス5.9と、前月より6.6ポイント上昇。翌月予測DIも、マイナス6.7で、前月より21.1ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、やや増加～増加も、景況感の好転には至っていないとする業者が多い。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、先行きは上向きとの声。電化製品の売上は、前月比、前年比とも増加との声が寄せられた。OA、事務機器の売上は、前月比減少も、前年比は増加との声。家事用品卸の売上は、前月比やや増加、景況感も良好という。娯楽用品の売上は、「夏休み、お盆商戦で前月比増加も、前年比はやや減少」との声が聞かれた。衣料品の販売は、前月比、前年比とも増加との声。土産物の売上は、景況感の好転までには至らないものの、前月比やや増加という。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比5%減少も、前年比24%増加。7月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比4%減少も、前年比は6%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。市内料理店の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声。昼神温泉の売上の前年比は、業者により増減分かれる。タクシーの売上は、前月比やや増加も、「依然として夜間のご利用は停滞気味」など景況感悪化との声が寄せられた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



## 地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス29.6で、前月から33.2ポイント下降。翌月予測もマイナス14.8で、前月から21.3ポイント下降している。「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」公布

7月6日、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が公布された。

この法律では、残業時間の上限規制（中小企業への適用は2020年4月1日）や、月60時間を超える残業割増賃金率に係る中小企業への猶予措置の廃止（中小企業への適用は2023年4月1日）などを含む労働時間法の見直しや、裁判の際に判断基準となる「均衡待遇規定」「均等待遇規定」をパートタイム労働者、有期労働者、派遣労働者で統一的に整備することなどから成る、雇用形態にかかわらずの公正な待遇の確保を目的とした措置が講じられた。

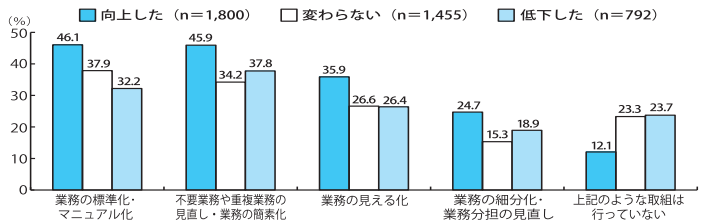
働き方改革を巡る

（資料：厚生労働省リーフレット）

では、「季節性・突発性により業務に繁忙がある中、残業規制の範囲で業務を行えるか不安」「残業規制を守ることで失注につながりかねない」「製造部門と調整せず営業部門が受注して残業増」「人手不足と賃金高騰等で従業員が採用できない/定着しない（離職する）」「発注企業側の残業規制・人手不足のしわ寄せで受注側の生産性悪化」といった多くの不安が言われる（中小企業庁「働き方改革を巡る中小企業の実情と

対応策」）こともあり、既に様々な対策を取っていることと思われるが、「中小企業白書2018」によると、多くの中小企業が人材活用、IT利活用、設備投資、M&Aを中心とする事業再編・統合などによる生産性向上を通して働き方改革に対応しており、中でも「業務の標準化・マニュアル化」、「不要業務・重複業務の見直し・業務の簡素化」、「業務の見える化」などの業務効率化を通して、少なからぬ事業者が労働生産性の向上を実感しているという。

### 3年前と比べた労働生産性に見た、業務見直しの取組内容



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「人手不足対応に向けた生産性向上の取組に関する調査」(2017年12月)

(注) 1. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。  
2. 3年前と比べた労働生産性について、「わからない」の項目は表示していない。  
3. 労働生産性について、「かなり向上」及び「やや向上」の回答を「向上した」とし、「やや低下」及び「かなり低下」の回答を「低下した」として集計している。

（資料：中小企業白書2018）

長野県では、長野労働局や「長野県働き方改革推進支援センター」（長野市中御所岡田131-10 0800-800-3028）を始めとする多くの相談窓口を設け、取組支援や助成金活用のアドバイスなどを行っている。

## 機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。もっとも、一部に受注残高の前月比、前年比がやや減少した業者も見られ、こうした業者では景況感も悪化している。先行きの見方も分かれ、売上の増加を見込む声も聞かれた一方で、弱含みとの声も。当月、原材料、資材価格に大きな動きはない様子。雇用面で積極的な声は聞かれないが、設備面で積極的な声は多い。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高の前月比は、やや減少～概ね横ばい。「半導体関連は調整局面」「仕掛在庫減少。一方、完成在庫は増加」などの声が聞かれ、複数の業者から景況感も悪化との声が寄せられた。製品別には、「サーバー向けが調整。これによって受注残も減少」「スマホ関連は通常生産で良好」「FPD関連では一段落するも、一部に需要が強いものもある」などの声が聞かれた。「材料や工具、刃物類の値上げ」など依然原材料、資材価格が上昇しているとの声。一方、製品価格は「コスト要求は厳しい」ものの、大きな動きはなかった様子。雇用面では現状維持との声が多いが、一部に「複数名増員。経験者を募集している」などの声も。設備面では積極的な声が多い。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、減少～横ばい。景況感が悪化した業者も少なくない。「例年8月の売上は落ちる」「夏休みがあり売上に影響」「在庫調整」といった声が寄せられたほか、「米中の貿易戦争を冷や冷やしながら見守っている」「国内は依然忙しいが、中国関連の動きが悪い」「各社中国からの影響が少し出ているようだ」など、米中関係等を理由とする中国市場の変調の影響を指摘する声が複数聞かれた。先行きに関し、「全体的には10月頃まで低迷。11月頃からは上向くとの情報もある」など、当面弱含みとの見方が多い。

原材料、資材価格に当月大きな動きはなかったとの

### ポイントI 労働時間法制の見直し

#### 見直しの内容

- ① 残業時間の上限を規制します
- ② 「勤務間インターバル」制度の導入を促します
- ③ 1人1年あたり5日間の年次有給休暇の取得を、企業に義務づけます
- ④ 月60時間を超える残業は、割増賃金率を引上げます（25%→50%）  
▶ 中小企業で働く人にも適用（大企業は平成22年度～）
- ⑤ 労働時間の状況を客観的に把握するよう、企業に義務づけます  
▶ 働く人の健康管理を徹底  
▶ 管理職、被雇労働者適用者も対象
- ⑥ 「フレックスタイム制」により働きやすくなるため、制度を拡充します  
▶ 労働時間の調整が可能な期間（消費期間）を延長（1か月→3か月）  
▶ 労務で対応しやすくなるため、より働きやすく
- ⑦ 専門的な職業の方の自律的で創造的な働き方である「高度プロフェッショナル制度」を新設し、選択できるようにします  
▶ 前提として、働く人の健康を守る措置を義務化（報酬つき）  
▶ 対象を限定（一定の年収以上で特定の高度専門職のみが対象）

### ポイントII 雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

#### 改正の概要

##### ① 不合理な待遇差をなくすための規定の整備

同一企業内において、正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間で、基本給や賃金などの雇用の待遇ごとに、不合理な待遇差を設けることが禁止されます。ガイドライン<sup>1</sup>を策定し、どのような待遇差が不合理に当たるかを明確に示します。

※1 どのような待遇差が不合理であり、いかなる措置が合理的なものであるかを示した「同一労働同一賃金ガイドライン」が2016年12月に策定されており、今後、確立する予定です。  
（詳しくはこちら） <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000190991.html>

##### ② 労働者に対する待遇に関する説明義務の強化

非正規雇用労働者は、「正社員との待遇差の内容や理由」など、自身の待遇について説明を求められることができるようになります。事業主は、非正規雇用労働者から求めがあった場合は、説明をしなければなりません。

##### ③ 行政による事業主への助言・指導等や裁判外紛争解決手続(行政ADR)<sup>2</sup>の規定の整備

※4 事業主と労働者との間の紛争を、高付せずに対応する手続きのことでもあります。

都道府県労働局において、無料、非公開の紛争解決手続きを行います。「均等待遇」や「待遇差の内容・理由」に関する説明についても、行政ADRの対象となります。

声が多いが、一部に「ガソリン代アップ」などの声も。製品価格に関しても、大きな動きはないとの声が大半だが、「交渉している」といった声も寄せられた。雇用面では、当面現状維持との声が大半を占めるが、一部に「やや不足気味」などの声も聞かれたほか、「来春の新卒者の採用は厳しい」といった声も寄せられた。設備面では特に投資を予定していないとの声が多い中、「計画中」「ソフトを予定」「予定あり」などの声も。

**建築用金属製品**の売上は、前月比増加、「前月同様この時期としては極めて良い」「最近大型物件の引合が増えていいる」など景況感も好転との声も寄せられた。こうした業者では、雇用面や設備面でも積極的な様子が窺える。原材料、資材価格が依然上昇基調にあるという。

**自動車向け部品**の販売は、前月比増加も、これは「単価の見直しがあったため、受注量が増えたわけではない」とい、景況感の好転には至っていないとの声も寄せられた。先行きも大きな動きは見込まれていないという。

**小型電磁機器**の販売は、前月比横ばい～やや増加も、総じて景況感に動きは見られない。一部に前年比がやや増加との声も。先行きに大きな動きはないとする声が多い。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。設備面で一部に積極的な声。

**FA関連モーター**の販売は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。「8月は稼働日が少なく前月比に影響があるとはいえ、産業機械向けが受注残を消化しており、減少で推移している」という。

**光学機器部品**の販売は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声も寄せられた。先行きに関する景況感悪化しているという。原材料、資材価格が上昇したとの声。雇用面で不足感があり、増員を検討しているとの声も寄せられた。

**電気、電子製品**の生産は、前月比やや増加、景況感も良好との声。こうした業者では人員の不足が続いているという。

## 地場産業

**半生菓子、菓子原料等**の売上は、やや減少～横ばい。景況感が好転した業者は見受けられず、却って「全体に動きが悪い」など景況感が悪化した業者が見られたほか、「猛暑で消費が弱いと言われている。さらに台風や地震の追い打ちもあり、経済が滞ることを心配」などの声も聞かれた。「包装資材価格が上昇してきている」など、原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声も複数。「概ね充足。1名入社」など、一部に雇用面で積極的な声がある。設備面でも積極的な声も複数聞かれた。

**水引製品**の販売の前月比は、業者により増減分かれる。複数の業者から前年比増加との声も寄せられたが、「業況は概ね平穏」など景況感に動きは見られない。「盆用品の販売は、返品が気になるものの、値上げの効果もあって昨年を上回ることができた」「年度当初から売上が落ち込んでいたが、値上げの効果もあって何とかカバーできた」などの声。「年末商品の販売が本格化する」時期だが、これに関し「注文が早々来ているが、仕入が多く、見通しは何とも言えない」「自然災害が多い年になっている。今後も続くようなら自粛ムードの高まりなどで、縁起物の売行きに陰りが出ることを懸念」「中国の生産委託先から、人手不足などの理由で生産を取り止める品もいくつも出てくるとの連絡があり、対応に苦慮」などの声も聞かれた。

水引の新たな販売、PR方法として、トンボやフクロウなどを象ったキーホルダーや、花や星型のブックホルダー、新製品「CUBE」などをカプセル入り玩具販売機「ガチャガチャ」で売り出した業者がある。

これに関し「新販路に期待したい」「他の業者も新企画商品を出せば業界全体が活性化する。水引製品は使い捨て文化の面があるが、新しい使い方ができれば、まだまだ発展可能ではないか」などの反応も寄せられた。

**漬物**の販売は、前月比やや増加との声。しかし、「全般的に動きは良くない」「浅漬け類の動きはあまり良くないとの声が多い」という。雇用面で、依然不足している職種があるとの声も寄せられた。

## その他製造業

**食品製造業**からは、景況感に大きな動きは感じられないものの、「消費動向は鈍いと思われる」との声も寄せられた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

**食品関連包材**の生産は、前月比横ばいも、先行きは生産の増加を見込んでいるとの声も寄せられた。原材料、資材価格や製品価格に当月大きな動きはなかったという。

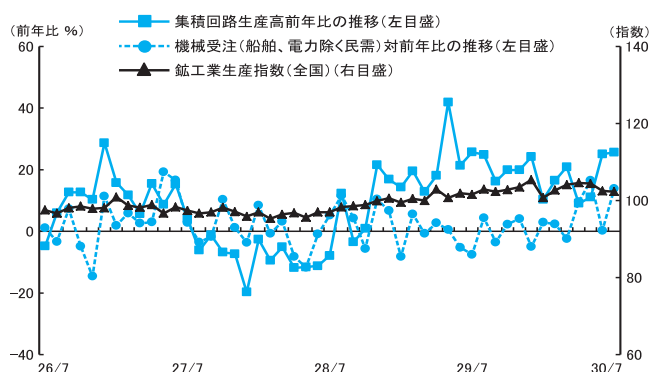
**印刷、出版関連**の売上は、前月比増加も、前年比も若干減少との声も聞かれた。「病院関係の電子カルテ化を始め、他分野でもペーパーレス化の動きが出始めている。印刷以外の分野への取組みの必要性を感じる」との声も聞かれた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面で「営業、公務とも求人者を継続しているが、なかなか巡り合わない」との声。設備面で積極的な声も聞かれた。

**衣料品**の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、「暑すぎて衣料は動かない」など景況感悪化との声も寄せられた。「店頭在庫を持たない予約制ショールームストアやECモールの相互出店など、アパレルECを活用する次世代型の小売ビジネスが、東京オリンピックを目前に進行中。また、生産基盤の共有化、海外生産における工場監査の合理化など生産現場でも新しい潮流が表れている」という。雇用面で「外国人技能実習生の補充の見通し」だが、「海外実習生一人あたりの費用は相当高額となってきた。一方、日本人従業員に実習生並みの賃金を用意しても育たない。工場運営も難しくなっている」との声も寄せられた。原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、当月は製品価格がやや下降したという。

### 【企業からのコメント】

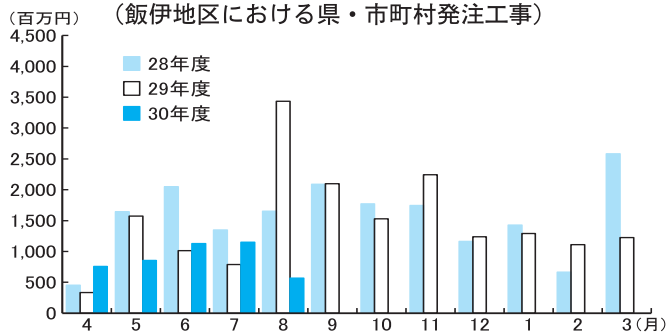
- ★各企業が特色を出し、新たな取組みへの知恵を出して頑張っている様子が感じられる。焦りを感じることもある。
- ★中国における米中貿易摩擦の影響が国内販売で出始めている。今後の収益環境の悪化が懸念される。
- ★需給バランスの関係もあって、年末頃から製品価格の上昇を期待している。

## 集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



## 月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -28.6 (前月 -7.1)

翌月予測DI 0.0 (前月 -6.7)

## 官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、9月15日調査時点で約5.7億円となっている。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部にやや増加との声も聞かれたが、やや減少との声が多くを占める。「今月の受注は予定通りだったが、受注残高の前年比は今月も減少。公共事業の発注は例年通り低調」「公共も民間も工事が少なく競争が激しい。公共工事の予算は昨年並みだが、設計やコンサルタント、用地買収などが先行していて、工事に回っていない感もある」「三遠南信自動車道関連やリニア中央新幹線関連は、動きはあるが、まだまだ本格化していない」などの声も聞かれた。

先行きの見方は分かれ、「災害関連工事の予定がある」など増加を見込む声も複数聞かれた一方で、「公共事業の予算が付かず厳しい見通し」「目下の生コン、合板、骨材といった建設資材の出荷量は少ない。豪雨や地震などの災害で、当地域は当然こうした状態が続くかもしれない」など弱含みと見る業者も少なくない。「悪天候で工事の進捗率が低下」との声。

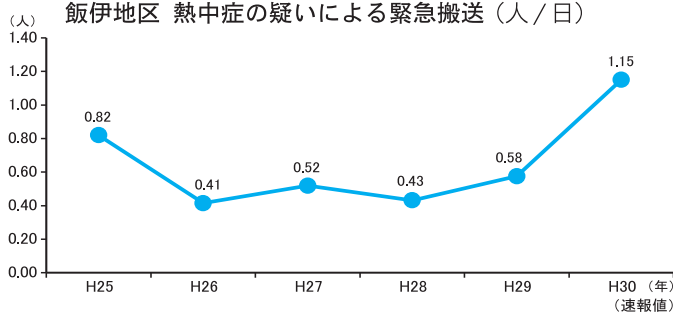
資材価格では、大きな動きではなかったものの、「燃料」などを中心に、上昇基調にあるとの声も複数。

雇用面では、「下請け、パートさんをお願いしている」など自社の人員は現状維持との声が多いが、「施工職員」「技術者もさることながら、特に営業職の人員を必要としている」「技術者不足。募集は続ける」などの声も寄せられた。

## 飯伊地区の熱中症の疑いによる緊急搬送の状況

気象庁が「命に危険を及ぼすレベルで、災害と認識している」と表明するほどの猛暑。飯田特別地域気象観測所でも、8月6日に観測史上最も高い最高気温37.7℃を記録した。各事業所でも様々な熱中症対策を講じておられることだろうが、飯田広域消防本部によると、4月30日～9月3日の熱中症の疑いによる搬送人員は146人で、前年同日に比べ58人増加という。調査期間が年によって異なるため厳密な比較は困難だが、これ

## 飯伊地区 熱中症の疑いによる緊急搬送 (人/日)



(資料：飯田広域消防本部「熱中症の疑いによる緊急搬送の状況」)

を1日当たりになると1.15人で、過去6年間で最も多い。

## 民需

当地区の7月の住宅着工戸数は26戸。前月比、前年比とも51%減少している。

当月の調査先企業の受注残高は、前月比横ばい～やや増加。一部に前年比増加との声も。景況感が好転した業者は見られなかったものの、「住宅とリフォームはまずまず」「当社にとっては規模の大きい民間工事を受注できたが、内容は厳しい」「当地域では、製造業など大きな工事がいくつか始まっている」などの声も聞かれた。

こうした中、「人員は不足」「高齢化もあって人員は不足。確保していきたい」などの声。資材価格が上昇基調にあるとの声も複数聞かれたほか、「一部の資材が間に合わない」との声も寄せられた。

## 建設資材

塗料等建設資材の売上は、前月比やや減少。前年比は概ね横ばいとの声。景況感に動きは見られない。原材料、資材価格が上昇基調にあり、今後も当分続く見込みという。

鋼材の売上は、前月比、前年比ともやや減少、景況感の悪化には至らないまでも、「当月の荷動きは一段と悪くなった。景気が上向きこれといった材料がない。ここ数か月良くない状況が続いているが、この辺で若干上向きになるのではという感触もあり、期待している」との声も寄せられた。商品価格に関し、「二次製品を中心に値上げが続いている。鋼材価格は強含み横ばいといったところ」「全国的な建築の好調もあって、建築用高力ボルトの品薄が深刻。仕掛物件への影響が大きくなっている」という。

生コンの売上は、前月比概ね横ばい。前年比は、地域によっては「お盆休みもあったが、堰堤、砂防工事など順調な打設で増加」との声も聞かれたが、やや減少との声が多い。「主な出荷は、リニア関連工事、病院・工場・保育園建築工事、護岸・砂防工事、林道工事に関わるもの」などの声も聞かれ、総じて景況感に動きは見られない。「リニア関連工事向けは前月よりやや増加」という。

骨材の売上は、前月比やや減少～概ね横ばい、前年比減少。「想定範囲内とはいえ、売上が伸びない夏だった」「地域、取引先による違いは多少あるが、動きの悪い月だった。リニア中央新幹線の仮設工や三遠南信自動車道関連工事、発電所などに関わっている業者では、工程のタイミングにより瞬間的に大きな出荷があるが、国、県の発注は少ない」などの声も寄せられ、一部に景況感が悪化した業者も見られた。

## 【企業からのコメント】

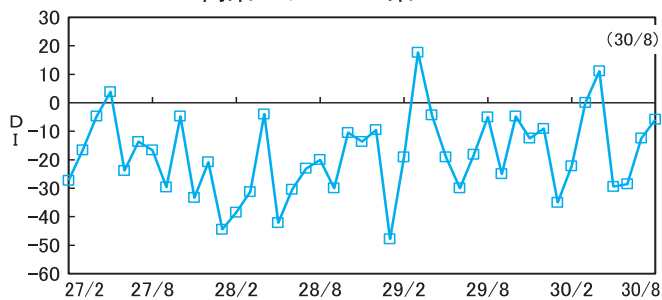
- ★地元業者は受注がなく低迷している。
- ★大型工事は、一件、二件受注できても、継続できるかどうか分からないという要素がある。当社は小規模でも継続できる営業をしていく。

## 住宅建築確認申請受付状況 (※本誌調査による概数)

- 8月
- 飯田建設事務所分
    - 新築 11件 (前年 11件)
    - 増築 1件 (前年 3件)
  - 飯田市役所分
    - 新築 25件 (前年 24件)
    - 増築 1件 (前年 0件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-5.9	(先月 -12.5)
翌月予測DI	-6.7	(先月 -27.8)

## 商業

食品の売上の前月比は、「改装効果」「フランチャイザーの変更で女性客増加」など、やや増加～増加も、景況感の好転には至っていないとする業者が多い。前年比は業者により増減分かれる。「部門によりメーカーの値上げがある」など、仕入価格が上昇基調にあるとの声は多い。「中元商材の増加」といった理由で、商品在庫が増加した業者が多い。雇用面では、「高卒者募集中」「夏休み頃から学生のバイトが入り始めた」などの声が聞かれた。

### 【青果卸売市場】

売上は前月比、前年比ともやや増加という。野菜は、「7月までの高温少雨の影響で高温障害が発生し、高値の販売となった。特に白菜、ピーマン、インゲン等は昨年に比べ高値。全体では、入荷量は前年並みで、価格は21%高」という。

果実は、「昨年の出荷遅れで、この時期多かった桃は昨年比4割の入荷。同じく昨年出荷が遅かったつがる、幸水は昨年比1.6～2.6倍の入荷で、前年並みに戻った感。果実全体の入荷量は、前年比5%減、価格は4%安となった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、先行きは上向きとの声。景況感に動きは見られない。設備面で不足感があるという。

電化製品の売上は、前月比、前年比とも増加との声。「前月同様エアコン中心の一个月となった。天候に伴う特需との意見もあるが、設備が整っていない教育施設等が多く、今後の予算化に伴う受注が期待できる。製造業の得意先が好調で、制御機器などの伸びも良い。一方、家電は売上が伸びない」という。

OA、事務機器の売上は、前月比減少も、前年比は、「夏場の厳しい時期だったが、売上は確保」など増加との声が寄せられた。仕入に関し、「カートリッジ値上げ予定。その他の一部商品や配送費の値上げが実施された」という。「当地域で撤退する文具店もあれば、他地域では品揃えや販売方法を工夫して出店ラッシュの文具店もある。働き方改革、省力化のトレンドにうまく乗っていきたい」との声が寄せられた。

家事用品卸の売上は、前月比やや増加、景況感も良好との声。前年比はやや減少も、これは「昨年この時期、飯田市指定ごみ袋の発売があったため」という。「一部の商品で、扱っていた業者が廃業して仕入れが難しくなってきた。他にも細かい物を扱う所がなくなってきた」という。「紙類は、依然として価格が不安定。品物が安定していないメーカーもある」などの声が聞かれた。

娯楽用品の売上は、「夏休み、お盆商戦で前月比増加も、前年比はやや減少」との声が聞かれた。景況感に大きな動きは感じられないという。

衣料品の販売は、前月比、前年比とも増加との声。「7月上旬以降の猛暑が手伝って、空調服の売上の伸びが大きい」という。仕入価格に大きな動きはなかった一方、販売価格は若干下降との声が聞かれた。

土産物の売上は、景況感の好転までには至らないものの、前月比やや増加との声。依然仕入価格が上昇基

調にあるという。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比5%減少も、前年比は24%増加。中古車は、前月比4%増加、前年比も15%増加。7月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比4%減少も、前年比は6%増加。中古車も、前月比3%減少も、前年比は7%増加。

自動車販売、整備の売上は、前月比、前年比ともやや減少との声。「8月は、パッとしない。酷暑でお客も夏バテ気味か、盆前に来店商談が減少していた。盆明けから9月に向けては客足が増加傾向」「中古車販売の平均単価がいつもより高かった」などの声。「ネット販売と同じ商品の価格提示に苦慮するケースが増えている。価格競争に巻き込まれて利幅が減少傾向」という。雇用面で積極的な声も。

## サービス業

市内料理店の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声。「早くから予約のある宴会は少ないが、前日などの飛び込みの宴会が多かった。重ならないで幸いだったが、仕入は大変。家族連れは少ない」「客単価は良かった」「昼間は、猛暑からお客様が逃げるように来店されるので重なってしまふ」などの声。仕入は、「盆月だったが特に大きな動きはなかった」とはいえ猛暑で野菜が高く、魚の種類は少ない」一方、販売価格は、「お客様は敏感。上げられない」という。

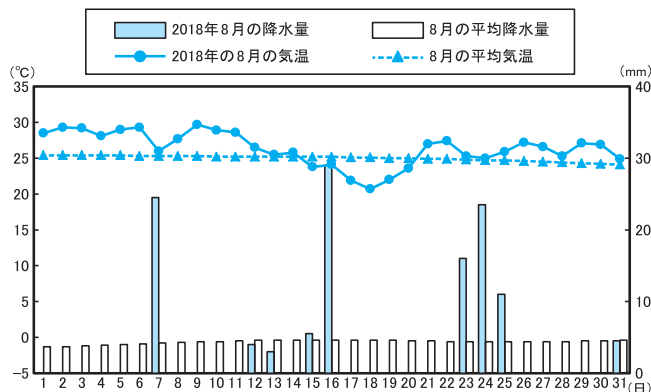
昼神温泉の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「ナイトツアーのお蔭で前年を上回った。出だしは好調だったが、台風によるキャンセルもあり、後半伸び悩み」「やはりナイトツアー客が主流。盆中は例年並みも、週末になると台風でキャンセルがあり、結果として売上は前年比やや減少」などの声が寄せられた。ナイトツアーに関し、「個人客が多いため人手が必要」「お客様は自然のことに諦めてくれるが、星空が見えない日や雨天時のサービスを考える必要を感じる」などの声。雇用面で、「新しい集客策の効果に期待しているが、増員は必須」「猛暑でチェックインが早く、適切な対応ができないこともあった。スタッフ不足は深刻な問題」などの声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比やや増加も、「依然として夜間のご利用は停滞気味」など景況感悪化との声が寄せられた。「LPGが上昇基調にある」という。雇用面で、「募集中。供給側の人員が整っていないために、各社やりくりに苦労している。働き方改革でさらに厳しい状況になりそう」などの声が聞かれた。

### 【企業からのコメント】

- ★サンマは豊漁の兆し。松茸の状況は目下のところ不明。
- ★顧客の納入方法の変更で売上に影響がある。
- ★昨年に比べ売上は増加しているが、利益が伴わない。
- ★人口減少が雇用に与える影響を心配している。
- ★利幅が小さくなっている。デフレ脱却の掛け声も達成は難しいように感じる。
- ★諸々値上がりしている上に、猛暑で空調費が多い。

飯田の気温と降水量



## 『グローバルシティ飯田』における『多文化共生』をめぐる現状と意識 ～ 外国人・日本人アンケート調査報告書 抜粋 ～

本誌7月号で既報の通り、福元拓、蘭信三、蘭哲郎(2016 宮崎産業経営大学)「『グローバルシティ飯田』における『多文化共生』をめぐる現状と意識～外国人・日本人アンケート調査報告書」では、飯田市の外国人住民と日本人住民双方を対象とした、地域における定住に関する意識調査を行っている。

7月号では飯田市の外国人登録人口の推移とともに、現在の職業、生活費などの面における飯田市の外国人住民の意識を簡単にご紹介した。

今回は引き続き、飯田市における外国人住民の、世帯のあり方、地域活動や日本人住民との関係、子供の教育などに関わる調査結果を抜粋してご紹介する。

### 1. 飯田市の外国人登録人口

既報の通り、飯田市「市勢の概要」によると、平成28年3月末日の登録人口は2,132人で、同年3月1日の飯田市総人口の2.1%を占めている。

全国の外国人住民の割合は2.0%（総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成30年1月1日現在））なので、全国平均に近い。長野県の外国人住民の割合は1.6%、県内市町村との比較では、村部では白馬村7.4%、南牧村5.3%といった例があるが、市、町では、箕輪町3.0%、坂城町2.7%、軽井沢町2.6%、諏訪市2.5%、上田市、伊那市2.4%など飯田市を含め10の市、町が2%を超えている（平成29年（2017年）12月末現在「外国人住民統計」）。こうしてみると飯田市の外国人住民の割合は低くはないと言えるだろう。

もっとも当地域の外国人住民構成を見ると、中国の占める割合が多く、また、韓国・朝鮮、中国、フィリピン、ブラジルの4地域で全外国人住民の9割を占めている（平成27年国勢調査）点で、長野県計や全国と異なった部分があるように思われる。

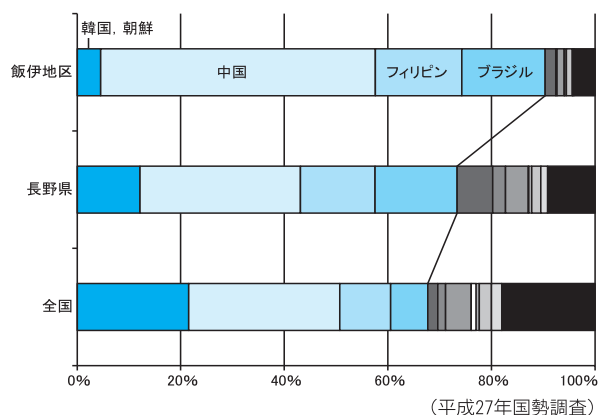
本調査では、アンケート対象者に出生地と、来日、来飯年を聞いている。出生地については96%の回答者が「日本以外で生まれた」としており、ほとんどの回答者が海外出身だった。また、来飯した年代を見ると、1990年代、2000年代が多く、調査から算出した飯田市在住年数の平均は12.7年という。

### 2. 家族について

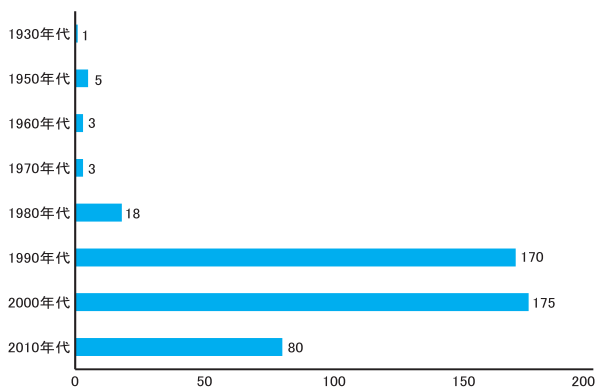
単独世帯か否か、また、二人以上の世帯に限定して稼得者の人数を尋ねたところ、単独世帯は14%に過ぎず、本調査における世帯人員の平均値は3.1人だった。また、二人以上の世帯における稼得者は、一人または二人とする回答で83%を占める。

18歳以下の子供の有無について問うたところ、「いる」とする回答者が54%だった。そうした子供が同居しているか、別居しているか尋ねたところ、「別居している子はいない」つまり、すべての子と同居しているとの回答は47%で、過半数に満たない。17%が、母国にいる、母国と日本国内に子供がいるとして

飯伊地区の国籍別外国人数

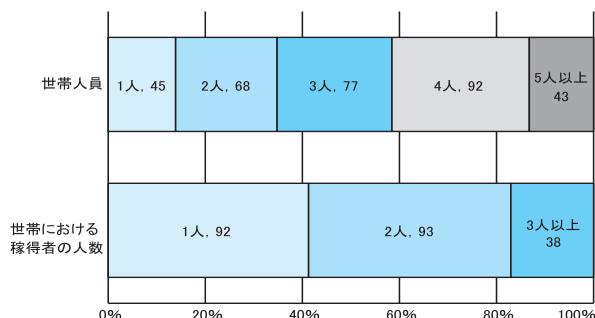


あなたが生まれた場所と、  
日本・飯田に来た年（西暦）を回答してください



現在、あなたは一人暮らしですか  
<(a)、(b)は二人以上世帯への質問>

- (a) 何人で住んでいますか？
- (b) そのうち、収入のある人は何人いますか？



いることから、単身母国に子供を残しているケースや、親子で2か国に跨って生活しているケースが想定される。こうしたことから、「家族や親族のネットワークが国境をまたがって展開している」ことが推測され、このことは、「外国人住民の地域社会との関わりや、子供の教育に対する考え方にも大きく影響していると考えられる」という。

### 3. 地域活動や日本人住民との関わりについて

本調査では、近所や職場での日本人との接触と、それに対する意識を尋ねている。近所の住民との付き合いで「日常的に話をする程度」以上の関係を持つ者は37%と少数派だが、本調査で日本人に対して外国人住民との何らかの接触のある回答者は4分の1程度に止まっていることと比べると、「日本人との付き合いのある外国人の割合は少なくない」としている。また、職場の日本人との付き合いの親密さの程度は全体的に高い。

地域の活動やイベントへの参加頻度を聞いたところ、「参加している」「わりと参加している」を併せて52%となっている。日本人住民に自治会、町内会に参加している頻度を尋ねたところ、「月に一回以上」との回答が2割弱、「年に数回」参加しているとの回答を併せて6割強が「参加している」との回答だったことと比較しても、外国人住民が地域活動の参加に「消極的なわけではない」という。また、同国人の集まりに参加する頻度を尋ねたところ、「あまり参加していない」「参加していない」との回答が67%となっており、「外国人住民が同じ出身国どうしで集まる」という想定は、本アンケート調査結果には該当しない」としている。

### 4. 子供について

紙幅の都合上図表はないが、子供の日本語能力を尋ねたところ、回答者の半数強は、子供が学校での学習に支障のない日本語能力を身に付けていると考えているものの、「授業は難しいが日常生活には困らない」との回答も26%ある。この内には日本生まれの子供も多数含まれていることも想定され、「外国人の子供の適応や教育達成を考える上で看過できない」という。

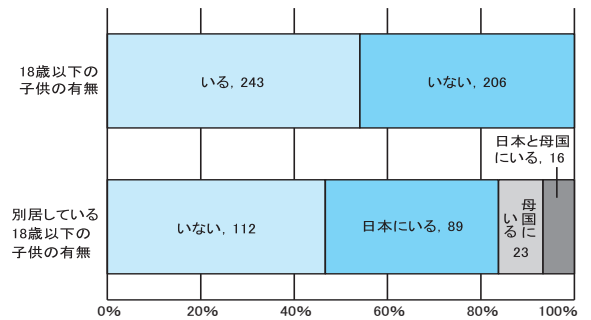
ところで、子供の進学に関する希望を尋ねたところ、総じて大学への進学が望まれている。本設問は複数の希望があり得ることを考慮して複数回答としたが、「日本の大学」と「母国の大学」の双方を選んだ者が23%あり、「子供の教育戦略として、日本だけでなく母国での学修も視野に入れる人が一定割合いる」としている。

### 5. 終わりに

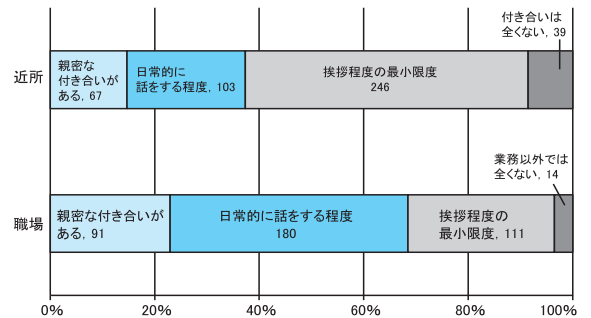
数ある設問のごく一部をご紹介したに過ぎないが、ここからだけでも「国境を超える移動という経験」を持ち、「『挙家離村』のように家族揃っての移動である方が珍しく、しばしば家族や親族のネットワークが国境を跨って展開している」外国人も、地域にあって定住しようとする限り、地域に溶け込もうとする姿が浮かび上がるように思われる。働き方改革を巡る議論でも「製造分野においては、……必要な外国人材を労働力として受け入れることができる機会が生じている」（経産省「新たな外国人材受入れ制度の検討経緯及び概要」）とされるが、外国人を地域が受け入れる上で、こうした外国人定住者の姿を考慮することも有意ではないだろうか。

（飯田信用金庫 地域サポート部 中村 達）

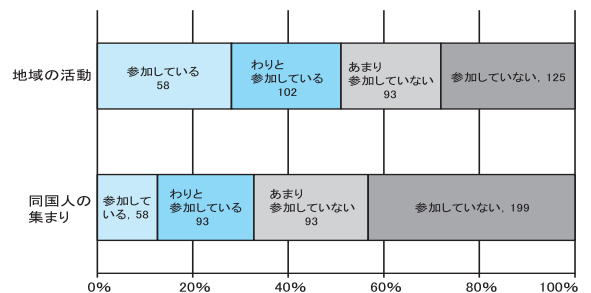
あなたには18歳以下のお子さんはいらっしゃいますか？  
18歳以下のお子さんのうち、別居している人はいますか？



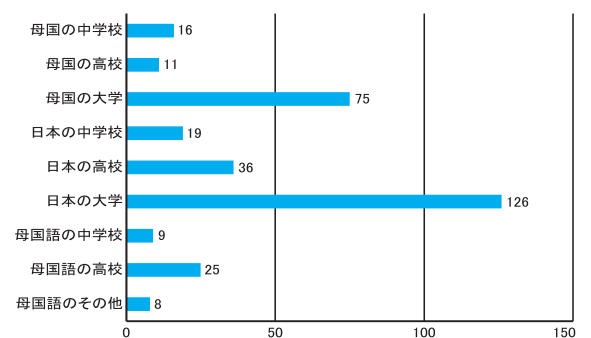
近所や職場で、あなたは日本人との程度の付き合いがありますか



あなたは現在、町内の清掃や防犯活動、祭りなど、地域の活動やイベントに参加していますか？  
あなたは現在、同国人の集まりに参加していますか？



子どもに受けさせたい教育〈複数回答、回答者数 200〉





## リニア時代を迎える飯伊地域の資源（3）

### JR飯田線（3）

連載企画は今回で3回目（本号、No.471、No.468）となった。これまでの記事を踏まえ、飯田線の今後について考えたい。

#### 1. 乗換新駅についての当地域の総意は

リニア本線および駅周辺整備は、事業用地の買収に向けての用地測量や物件調査と共に用地関係者組合の設立が進められている他、駅周辺整備はデザイン会議による検討が行われている。

駅周辺整備に関連しての乗換新駅設置では、気になるところは当地域の中で乗換新駅設置に関する議論が活発とはいえないことである。リニア関連の多数の移転対象者など、地域の負担が余りに大きいなど積極的な議論が起き難い事情は推察できるが、市議会での答弁等のやり取りでは「上伊那地域が要望しているのだから」と聞こえなくもないように思われる。当地域で自らが必要性の根拠を鮮明にする必要があるのではないかと。

当金庫では、平成28年3月に発表した「リニア中央新幹線開通に関する報告書」において、県下の各新幹線駅の乗車人数と新幹線駅地域の諸統計数値を比較して、「リニア新幹線駅の駅勢圏としては、県下他の駅と比較して大きなポテンシャルを持ち得るが、そのためには上伊那地域との連携・一体化が必須である」（135頁）と結論づけた。リニア長野県駅の計画乗降人数6,800人/日を現実化して長野県駅の開業効果を確かなものにするためには、上伊那地域からの利用を確保することが重要、としたものである。

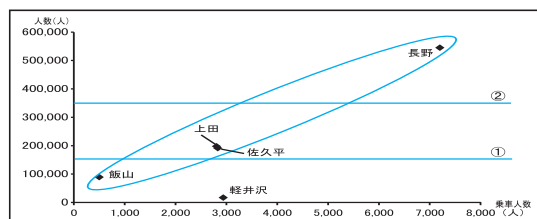
当地域は自動車中心の生活スタイルであることから鉄道整備については考えが巡らないが、自家用車を持たない移動（鉄道等）が当たり前の都市部からの来訪者に対し、リニア新幹線を降りて伊那谷をスムーズに移動できる手段として鉄道も考えていく。上伊那地方で首都圏へ行く際の利用があること。駒ヶ岳観光などに飯田線の利用が見られること（いずれもNo.468に記載）から乗換新駅設置と飯田線の高速化は考慮すべきことと思われる。

伊那谷自治体会議において、「急行の復活」が提案されていたが、特急伊那路の乗換新駅での接続と岡谷駅までの運用延長、現有車両（例えば313系）での快速としての運用など、新規車両投入なしでの運用など考えられないだろうか。いずれにしろJR東海への働きかけが必要になるだろう。



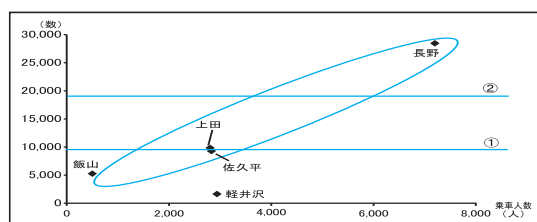
乗換新駅予定地付近を走行する列車（313系）

県下新幹線駅の乗車人数と統計諸数値  
図表Ⅲ-1-17 人口と乗車人数



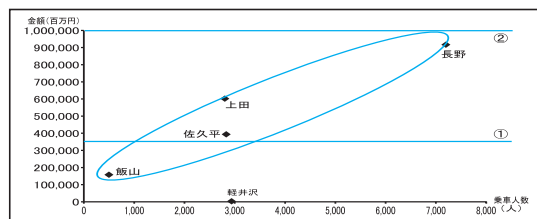
（人口：平成26年 毎月人口調査）

図表Ⅲ-1-18 事務所数と乗車人数



（事業所：平成24年 経済センサス）

図表Ⅲ-1-19 製造品出荷額等と乗車人数



（製造品出荷額：平成25年 工業統計調査）

当金庫「リニア中央新幹線開通に係る調査報告書」135頁  
（平成28年3月）  
グラフ中、横線①は飯伊地域の水準、横線②は飯伊地域+上伊那地域の水準

## 2. 観光資源と飯田線

No.471において秘境駅に言及したが、現状秘境駅観光はJR東海とJR東海ツアーズの側の企画によるものとなっていて、当地域側の主体性を持っての運用・拡充は難しいことも考えられる。そもそも余りに多くのツアー客が訪れ、観光客向けの施設が出来たりすれば、秘境駅が秘境駅でなくなってしまう。秘境駅への興味関心を持った方が自発的に訪れる形がよいのではないか。但し、リニア駅から乗換新駅へ移ると秘境駅へのアクセスが提供されている、という状態にしておくことは必要となる。

秘境駅はさておいても、下伊那南部地域から奥三河にかけての一带は乗降客が少ないものの沿線の資源にはまだまだ活用の余地がある、とは観光関係者の共通した見方である。JR東海はかつてここでトロッコ列車を運用していたが、それもなくなっている。現状は「飯田線秘境駅号」の他に「さわやかウォーキング」が随時運用されているが。

今後、この一带をどう活用していくかであるが、一つのヒントがある。(公社)東三河地域研究センターによると、東三河地域において東三河広域経済連合会が飯田線活性化の方策を検討する中で、本年に入って南信州地域に「JR飯田線活性化期成同盟会」による取組みがあることを初めて知り、同4月に飯田商工会議所と接触、連携を打診した。5月のJR飯田線期成同盟会総会(駒ヶ根市)には豊橋から代表者の出席があり、今後期成同盟会との連携を進めたい旨の表明があったという。①観光以外の部分を含む乗降客を増やす共同運動、②交通カード利用、③イベント列車の共同運行、④JR東海への共同要望、などが早速今後の取組み課題として挙げられたとのことであり、広域的な飯田線活性化の取組みはようやく緒に付いた段階といえる。

飯田線は南信州地域、遠州地域、東三河地域を跨ぐ路線であり、一体となった取組みから新たな展開が見込めることとなってきた。

## 3. 飯田線の今後のために果たすべきこと

JR各社の路線、特に地方交通線の路線名には、①路線の起点と終点の両駅・地域名から取って付けたもの(大糸線、太多線(美濃太田～多治見))、②起点(終点)の駅・地域名がついたもの(日光線、烏山線)などがあるが、③中間の駅・地域名が路線名となったものもある。JR東海管内の飯田線、身延線、高山本線などは代表的なものであろう。これらの駅・地域は、その路線の中で経済的もしくは歴史的・文化的に重みのあった地点であったことに間違いなく、飯田線は、豊橋など東三河地域にとっても、辰野など上伊那地域にとっても、まさに「飯田へと向かう路線」であり、「豊辰線」とはならなかったのである。

このことを考慮すると、飯田線のことについては飯田(飯伊)地域が先頭に立って活性化のために尽力する、飯田線の活性化に資する方策をJR東海へ提案すると共に、そのための重要な項目として乗換新駅設置と関連した諸施策を進めていく必要があるのではないか。

(本稿は、飯田市リニア推進部、(株)南信州観光公社、(公社)東三河地域研究センターに聴き取りし、まとめました。)

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)



飯田線小坂井駅(豊川市)(車両は211系)



天竜峡駅(車両: 同)

## 流れ雲の目（25） 運も実力の内

飯田信用金庫 地域サポート部  
専門アドバイザー 小泉 敏郎

松下幸之助は新入社員の採用面接で全員に必ずこう質問したと言われている。

貴方はご自身で運が良いと思いますか？あるいは運が無い方だと思いますか？

入社試験の点数が幾ら良くても、運が悪いとか運が無い方と回答した人間は採用しなかった。これはどういうことなのか私なりに解釈すると、運が良いとか、悪いとかは個人の気持ちの持ち様であり、天が決めたものではない。何事でも事象を前向きに捉え即座に取り組む人には自ずと運が向いてくるものだ、運を引き込んでくるのだ。逆に否定的に後ろ向きの考え方をすると運に見放されるのではないか。要するにプラス思考で生きているか、マイナス思考で生きているかの違いではないだろうか。会社にとって必要なのは、当然の事ながらプラス思考前向きな人であることは間違いない。

積極的な考え方の持ち主と消極的な考え方の持ち主と大きく分けて二種類の思考パターンの人間が存在する。何事に対しても前向きに肯定的に考える人間と、常に最悪の事態を想定し後ろ向きに否定的に考える人間がいる。この二種類の思考パターンを比べてみる。

### 積極的人間プラス思考（運を引き寄せる人）

- ①これは面白い、やれるはずだ、可能なはずだ。結論先出し即スイッチオン。
- ②全脳細胞をフル回転し、やれる方法を考える。
- ③必要と思えば、資料収集、情報収集、現地確認を行う。
- ④具体的に行動を開始し、試作等に着手する。
- ⑤試作は中々難しく不備に終わる、失敗の連続を繰り返す。
- ⑥失敗に諦めず、方法をいろいろ変え試行錯誤しながら繰り返し行動する。
- ⑦遂に試作の完成、目標に段々と近づく。
- ⑧更に試作を繰り返しているうちに、別の良いものが生まれることもある。
- ⑨何度も何年も繰り返し経験を積み、実力が付き、成功に導かれる。

### 消極的人間マイナス思考（運に見放される人）

- ①できない、無理だ不可能だとできない理由を思い切り洗い出し、マイナススイッチ。
- ②資料収集、情報収集せず、現場の確認もせず、行動は起こさない。
- ③全数億個の脳細胞で不可能な理由を膨大な量放出し、仕事をした気になる。
- ④他人の意見、忠告に耳を貸さず、最悪の事態ばかり想像する。
- ⑤できない理由を沢山考えたことに自己満足してしまう。
- ⑥学習効果で、できない理由を考える能力は向上するが、仕事の成果は上がらない。

まず良いと思えばできるはず、やれるはずの心を持ち、やれる方法を紙に書いてみる。

何日も考え続けると、自ずといろいろなアイデアが浮かんでくるものだ。

次に紙に書いたものを具現化するのに必要な要件は？費用は？を計算してみる。

額にもよるが経営にインパクトを与えない範囲で実験をしてみる。

何回もこのようなことを繰り返すことで腕も上がり自信も付き、積極人間へ変身できよい運を引き込んでくる。

昔の人の教訓：才能がある人は袖が触れ合う程度の小さな縁でも十分にこれを活かすが、普通の人は特別に良い縁に出会ったとき、良い縁であると気付きはするがそれを活かさず、そのまま終わってしまう。更に駄目な人は特別に良い縁であることすら気付かずに終わってしまう。

こういう人に限って 自分は運が悪い、良い人と出会わないと 愚痴をこぼす。

我々は誰でも例外なく1日1回は何らかのチャンスと出会っており、5年に1回は大きなチャンスと巡り合う、更に10年に1回は特別大きなチャンスと出会っている。

ビジネスを20歳から60歳の40年間とすると、人は誰でも大きなチャンスとは8回、特別大きなチャンスとは4回も出会うことになる、もちろんこれらのチャンスとの出会いは一定しておらず、ある時期に集中しているケースが多いと言われる。

気持ちが積極的な人は大きなチャンスと出会った時に気が付き、できる、やれる、の前向きな思考で取り組むので大きな成果を得ることができる。消極的な人は大きなチャンスと出会ってもそれが自分にとって本当に大きなチャンスであると気付かない。たとえ気付いたとしても、できない、無理だ、不可能だと消極的な態度で対応するので、自らの手でこの大きなチャンスを逃すことになる。

経営の源である客先の要求は、少しずつではあっても毎年確実に変化していく。更に競合相手との関係も同じではなく、毎年確実に変化していく。経営を維持するには、当然これらの変化に積極的に対応していかなければならない。ところが消極的思考の人間は、客先の要求が変化したり、競争相手の経営のやり方が変化しても、できない理由をいろいろ考え出して変化に対応しようとしなない。こうしていると客先の要求が変わった分だけ、あるいは競争相手のやり方が変わった分だけ経営効率が悪くなってしまふ。効率低下の度合いがひどくなるとやがては経営は行き詰まる。

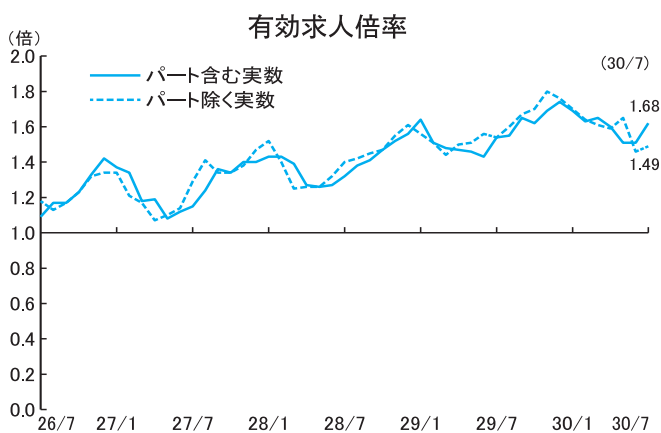
前向き思考の積極人間となり、他人にできないことを考え出す社長になるか、後ろ向き思考で消極人間のまま自己満足の世界に浸かりダメ社長のまま終わるか、すべて社長の心構え、態度次第である。良運を引き込むのも実力の内である。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

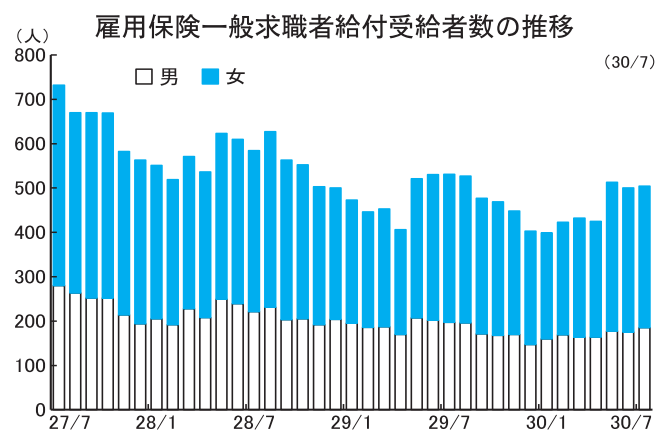
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

## 雇用の状況



7月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.68倍と、前月から0.06ポイント上昇。パートを除く実数も1.49倍で、前月から0.03ポイント上昇している。



7月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は10人増加、女性は6人減少、全体では504人と前月から4人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)